

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立浪速区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②21,737人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③175人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市浪速区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	21,737	175
年度実績	95.2%	27,942	208
達成率	111.2%	128.6%	118.9%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	27,942	28,727	-785

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	16,624,000	16,670,000	0	－
	計画	16,624,000	16,670,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	1,500	0	1,500	－
	計画	0	0		
合計	実績	16,625,500	16,670,000	1,500	－
	計画	16,624,000	16,670,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,192,997	12,804,733	-737,003	－
	計画	13,930,000	14,100,000		
物件費	実績	3,158,112	3,630,289	464,112	施設老朽化に伴い、LED化および修繕費の増
	計画	2,694,000	2,570,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	16,351,109	16,435,022	-272,891	－
	計画	16,624,000	16,670,000		

#### 4 管理運営状況の評価（1次評価）

##### （1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	111.2%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。
センターの延べ利用人数	128.6%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人数	118.9%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。

##### （2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電及び指定管理者で修繕可能の場合は自主修繕。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、節電や自主修繕などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

##### （3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・日常的に緊急避難経路の点検や確認を行ったり、避難訓練を複数回（1回は併設施設合同）実施したりすることにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・アウトリーチ事業として、体操事業や浪速図書館と共に出張講座を行ったり、男性の参加促進のための講座を開催したりするなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・職業体験学習や看護実習生を受け入れるとともに、警察署及び消防署などと連携しながら講習等を実施するなど地域関係団体等と連携している。また、浪速警察署から「交通安全功労者」表彰もいただいている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、ごみの削減及び分別を実施するなど実効性のある取組を行っている。

#### 5 利用者ニーズ・満足度等

##### （1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

##### （2）回答者121人（未記入者含む）

##### （3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

##### （4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が95.2%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

#### 6 外部専門家意見

- アウトリーチについて積極的に取り組まれている。今後も続けて取り組んでいただきたい。
- センター独自の中庭を利用した植栽活動において、収穫した野菜をこども食堂に配ることは、世代間交流等にもつながる。センターの特色がある取り組みであり、評価できる。猛暑が続く中なので、熱中症対策をはじめ、体調管理には気を付けられて、今後も継続・拡大していただきたい。
- 昨年度指摘があった、LINEの活用について徐々に改善されている。裾野を広げるといった観点から、企画を考えられている。一方、センターだよりにQRコードを掲載することも検討していただきたい。LINEを活用することで、事業の受付や抽選結果のお知らせなど、事務の軽減も図れると考えられる。
- 施設の維持管理は、利用者目線で考えられており、評価できる。

#### 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	イベント等の定員増や利用者の声を聞いた講座の開設などにより男性利用者数・登録者数が前年度より増加しており目標値を上回る結果であった。 満足度調査においては母数の更なる増加に努められたい。
管理経費・市費の縮減	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、節電や自主修繕などの取り組み等により市費の縮減に努められた。
管理運営の履行状況	B+	これまでの活動に加え、アウトリーチ事業やスマート教室などのICT関連事業、利用者のニーズに沿った活動の積極的な推進により区域で幅広い活動がでてきている。また、広報紙の配架場所の増やLINEによる情報発信の開始など周知活動にも取り組んでいる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。